

ムカシトンボ

兵庫県：C

Epiophlebia superstes

環境省：—

種の概要

腹長36～40mm、後翅長27～30mm程度。体色は黒色で胸部及び腹部に黄色斑をもつ。山地の樹林に覆われた河川源流域に生息する。流畔に垂れ下がるフキやウワバミソウなどの植物、またコケ類に産卵するので、こういった植生の存在が不可欠である。幼虫で生活する期間が5年以上と見積もられ、水量が安定していることが重要である。成虫は4月～6月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

北海道、本州、四国、九州、隠岐

県内分布記録

神戸市、姫路市、豊岡市、西脇市、三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、たつの市、猪名川町、多可町、市川町、神河町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
	○	○			○

特記事項

要注目種からCランクに変更

源流域は環境的に安定していると考えられがちだが、最近はそうではなくなってきた。大雨が降って鉄砲水などが出た場所では、河床の砂や礫・周辺の植生が流失し、復旧のためコンクリート張り改修工事がなされ、産卵植物がなくなって、底質も生息に適さなくなった例がある。さらに最近は源流域の水が伏流して、一時的に水が枯れる現象があちこちで見られ、そこでは成長に数年を要する幼虫が死滅する可能性がある。以上のように、その生息基盤は安定しているとはいえなくなった。

保護上の留意点

流畔の植生を保護すること。年中水が涸れないように留意すること。